

多高通信

第170号 令和元年 9月27日発行



さどく ゆたかに たくましく
宮城県多賀城高等学校

第30回 多高祭!

8月30日・31日の2日間、今年度の多高祭が行われました。1日目の全校発表では、文化部のステージや実行委員企画・有志団体の発表で大きな盛り上がりを見せました。2日目の一般公開は、体育館での発表に加え、クラスの模擬店や展示等で賑わいました。天候にも恵まれ、400名以上の皆様に「会場いただきました」。

■多高祭実行委員長

3年4組 菅原高文(宮城野中出身)
多高祭が良いものだったかどうか、楽しかったかどうか、もちろん感じ方は人それぞれだったと思います。ただ、私が実行委員長として運営した多高祭が滞りなく盛況に終わることができたのは本当に良い経験となったことは間違いありません。このような素晴らしい文化祭となったのも、一緒に活動してくれた実行委員のメンバーや、支えてくれた先生方、お越しいただいた地域の方々のおかげだと思います。本当にありがとうございます。ありがとうございました。



合唱部・吹奏楽部・軽音楽部のステージ発表



模擬店も大盛況でした!

山王地区防災キャンプ

7月25日、山王地区公民館で行われた防災キャンプに、ボランティアとして参加しました。

■2年6組 高橋 和寛

(玉川中出身)

災害避難所用間仕切りとして段ボールのパーティションを班ごとに作成し、完成度を見せ合ったり、アルミ缶と焚き火で炊飯するサバイバル炊飯「サバ飯」体験の手伝いをしたりしました。



アルミ缶をホイルで覆う「サバ飯」

パーティション作り

他の高校生ボランティアと協力しながら、小学生がケガなく楽しめるようなサポートができたと思います。楽しみながら防災を学ぶことができる貴重な体験活動なので、今後も積極的に参加したいと思っています。

福島第一廃炉フォーラム

学生セッション

8月2日からの3日間、富岡町を主会場にした第4回福島第一廃炉フォーラム「学生セッション」(原子力損害賠償・廃炉等支援機構(NDC)主催)に、本校科学部の代表4名が参加してきました。



オリエンテーション後、福島第一原子力発電所内サイト(1F)を視察。その後、榎葉町サイクリングターミナルに会場を移し、1Fの廃炉に向けた研究開発の取組の現状や福島イノベーション・コースト構想について学びました。引き続き、講演内容を踏まえた

テーマごとの話し合いがもたれ、翌4日のプレゼンテーションに向けた準備に入りました。

最終日の4日は、富岡町文化交流センター「学びの森」を会場に、地元の皆様と考える1F廃炉フォーラムが開かれ、班ごとにプレゼンテーションを行いました。

■1年5組 武田 侑真(向洋中出身)

この廃炉フォーラムで私は原発に対する思いが何倍にも膨れ上がりました。それは施設の見学だけではなく、グループディスカッションを通じて参加した人の思いに触れたからだと思います。皆の復興に対する思いは私が考えていたよりも強く感動しました。しかし、それと同時に福島の人と宮城の人で大きな温度差があるなど感じました。これは、福島県の人と比べて他県の原発に対する関心が薄いことが原因だと思っています。この意識を改善するのは難しいけれど、できることをして、私の身の周りの意識から少しずつ変えていきたいと思います。

続・キズナプロジェクト2019

東日本大震災の翌年、「キズナプロジェクト」として10名がアメリカ訪問の機会をいただいたことをきっかけに、語学研究部では「続・キズナプロジェクト」として、毎年、多賀城市国際交流協会の協力で交流会を企画しています。今年も、8月4日に仙台育英学園高等学校の留学生6名と交流をすることができました。

■生徒の感想

仙台育英学園の留学生の皆さんと、まち歩きや料理等を通して楽しく有意義な活動をする事ができました。多賀城の都市型津波について、被災した場所を留学生の皆さんと実際に歩き、震災時の状況などを共有しながら災害への関心を高めることができました。その後、昼食にのり巻きや味噌汁などを一緒に作ったり、災害クイズや茶道、折り紙と一緒に体験し、日本の文化なども知ってもらえたかと思っています。



末の松山での記念写真

この活動を通して、日本の災害について英語で発信していくこと、異国文化についてお互いが理解し尊重し合える関係を持つことの大切さを学びました。

多賀城市図書館

夏休み科学工作教室

8月2日、多賀城市図書館で小学生を対象に、本校図書委員7名とボランティア2名による科学工作教室を行いました。

午前は紙コップで七色ランタンを工作、午後はペットボトルで顕微鏡を作りオオカキナダモなど観察をしました。工作の前には、図書委員が本の本の読み聞かせをし、子どもたちの好奇心を刺激しました。

■2年2組 島田佳世子(多賀城中出身)

今回のイベントは本校図書委員として初の企画でした。企画チームとして図書委員のメンバーで放課後も準備をし、たくさんの人に来てもらって楽しんでもらえました。工作が成功したときの小学生の嬉しそうな表情がとても印象に残っています。次年度もぜひ参加したいです。

SSH 生徒研究発表会

8月7・8日の2日間、神戸国際展示場において、全国のSSH指定校218校が集まり、科学部や課題研究をはじめとした研究の発表会が行われました。本校からは、災害科学科3年生4名が都市型津波の危険予測というテーマで探究活動の成果を発表しました。

東日本大震災の際に多賀城市を襲った都市型津波は、建物や道路等の建築物によって波の挙動が変化し、予想外の場所から津波が流れ込みます。生徒たちは、これまでの災害科学科としての取組から都市型津波に興味を持ち、津波発生装置の作成から自分たちで行い、建物や道路の大きさ、広さが津波の挙動に与える影響を検証してきました。また、南海トラフでも想定される都市型津波について全国に発信するなど、今後の発展性も感じられる発表となりました。



全国トップの研究が集まる発表会において自分たちの研究を発表し、専門家の方々や全国の高校生と質の高いディスカッションを行いました。また、全国の研究発表会を聴講して、今後の取組や進路に対する意識も高まる機会となりました。



工作のお手伝いをしました

お知らせ

10月3日(木)から16日(水)まで、本校の学校自由見学期間となっております。8日(火)には本校グラウンドにおいて体育祭が行われます。ぜひお立ち寄りください。